

第6学年竹組 理科「水溶液の性質とはたらき」略案

指導者 工 藤 伸 子

1. 日 時 11月8日(火)竹組 (13:15~14:00)

2. ねらい ○ 水溶液の性質に関心を高め、これからの学習に関心をもつことができる。(6/6)

3. 本時の実際

時 間	学 習 活 動 と 児 童 の 動 き	教 師 の 支 援 及 び 評 価	セ ン タ ー の 先 生 の 支 援	備 考
13:15	1. 課題をつかむ。 それぞれの水溶液には、 何が溶けているのだろうか。 塩酸 炭酸水 石灰水 アンモニア水 食塩水	・ ・	・ (教室の後ろ側から授業を見る) ・ 児童の様子を観察する。	・ 学習シートを準備する。
13:18	2. 予想を立てる。	・ 水溶液の中に食塩水を入れることで、5年生で学習した食塩水の経験ををもとに予想を立てることができるようにする。		
13:25	3. 予想を発表する。	・ それぞれの水溶液の予想を比べやすいように整理して板書する。		
13:35	4. センターの先生から水溶液に関する資料を見せていただく。また、実験で使う器具の取り扱いについての留意点を聞く。		・ 発表の様子を観察する。予想が出たところで、水溶液への関心が高まるような映像を提示する。また、器具を取り扱う際の留意点を示す。	・ 留意点のキーワードをお話に合わせて提示する。
13:50	5. 実験する。 ようす・におい	・ それぞれの水溶液のようす・においについてのみ、実験するよう指示する。		
13:55	6. 本時の振り返りをする。	・ 次時につながる振り返り活動になるよう、振り返りのポイントを示す。		